



第 183 回 令和 4 年 2 月 1 日
伊豆歩俱樂部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は
歓歩で完歩

■第 2 3 2 回 伊豆歩俱樂部 2 月例会

伊豆早春フラワーウォーキング
第 24 回 河津桜ウォーク

・日本市民スポーツ連盟認定大会

【主 催】 伊豆歩俱樂部
【後 援】 (一社) 日本ウォーキング協会、 静岡県ウォーキング協会
朝日新聞静岡総局

来宮神社の大楠は最大周囲 14m、高さ 24m、樹齢 1,000 年以上と推定されている巨木を廻り、河津川沿いの 800 本余りの河津桜並木通りから伊豆の踊子文学碑（「伊豆の踊子」の“私”が泊った宿「福田家」）、整備された佐ヶ野溪谷遊歩道、河津桜原木（樹齢約 60 年）、白砂の今井浜海岸を廻る変化に富んだ楽しいコースです。



【開催月日】 令和 4 年 2 月 20 日（日）
雨天決行

【集合時間】 9 時 00 分（当日現地受付）

【出発式・スタート】 9 時 15 分 ・スタート 9 時 30 分

【集合場所】 須佐乃男神社境内（浜区公民館裏）

*伊豆急河津駅から海に向かって徒歩 3 分

【参加費】 伊豆歩俱樂部会員 無料 一般参加者 500 円（保険代、マップ代等）

【交通機関】 JR 伊東駅発 7 時 51 分 伊豆急河津駅着 8 時 38 分

伊豆急下田駅発 8 時 23 分 伊豆急河津駅着 8 時 37 分

*各自確認をお願いします。

【コース】 17・12Km 団体歩行

・17Km 須佐乃男神社→→来宮神社→→河津桜並木（河津川左岸）→ →伊豆の踊子文学碑「福田家」→→下佐ヶ野公園（昼食）→→佐ヶ野溪谷遊歩道→→

河津桜並木（河津川右岸）⇒⇒河津桜原木⇒⇒今井浜海岸⇒⇒須佐乃男神社（ゴール予定 15 時 30 分）

・ 12Km 河津桜原木⇒⇒須佐乃男神社（ゴール予定 14 時 30 分）

【備 考】

- ・ 駐車場は各自で見つけて下さい。
- ・ 会場には荷物の受付保管場所がありません、伊豆急河津駅のコインロッカーを利用して下さい。
- ・ 会場にはトイレがありません、伊豆急河津駅を利用して下さい。
- ・ 弁当、飲料水、雨具等は各自持参して下さい。
- ・ 感染予防のためマスク着用をお願いします。
- ・ ***新型コロナ感染拡大防止対策のため、中止となる場合もあります。**

【問合せ先】

〒415-0038 静岡県下田市大賀茂 301

伊豆歩俱樂部事務局（笹 本）

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

第 233 回 3 月例会 「伊豆大島三原山と伊豆の踊子歩道を訪ねる」のアンケートの結果は、参加者少数のため中止となりました。代わりに、下田水仙ツアーデーマーチ大会の開国コースを実施することになりました。

■ 第 233 回 伊豆歩俱樂部 3 月例会

下田開国コース

10Km

開国コースは、下田水仙ツアーデーマーチ大会のコースです。道の駅「開国下田みなと」を出発して、幕末の志士吉田松陰、老中松平定信などが歩いた伊豆東浦路の一部を歩きます。まどが浜海遊公園、松陰の小径から三島神社を左に見て上ノ山集落に進む、ほぼ完全に昔の東浦路が残っている、「白浜峠茶屋の跡」から白浜坂（さかんだん）を下ると白浜海岸です。2400 年の歴史を持つ伊豆最古



の白浜神社（奥の院）に参拝する、拝殿の彫刻は松崎の名工石田半兵衛作である。白浜大浜海水浴場で昼食をして、伊豆七島を望みながら国道 135 号線を進み、日本最初のアメリカ領事館が開設された玉泉寺である、吉田松陰が海外密航を企て渡米のために米艦に乗り込む前に潜んでいた柿崎の弁天社、吉田松陰と金子重輔の「踏海の朝」碑がある弁天島を廻りゴールの道の駅「開国下田みなど」である。

初心者でも参加できる素晴らしいコースです。

【開催月日】 令和 4 年 3 月 13 日（日）

【集合場所】 道の駅「開国下田みなど」ウッドデッキ（伊豆急下田駅より徒歩 10 分）

【集合時間】 9 時 30 分

【出発式】 9 時 45 分 ・スタート 10 時 00 分

【交通機関】 J R 伊東駅発 7 : 51 → 伊豆高原発 8 : 12 → 伊豆熱川発 8 : 24 → 伊豆急下田駅着 8 : 51

【参加費】 会 員 無料 一般参加者 500 円（マップ、保険代等）

【コース】 10 k m 団体歩行

・道の駅「開国下田みなど」（w c） ➡ まどが浜海遊公園（w c） ➡ 松陰の小径 ➡ 上ノ山集落 ➡ 白浜峠茶屋の跡 ➡ 白浜海岸 ➡ 白浜神社（奥の院）（w c） ➡ 白浜大浜海水浴場（昼食）（w c） ➡ 外浦海水浴場入口 ➡ 玉泉寺 ➡ 弁天社 ➡ 弁天島（w c） ➡ 道の駅「開国下田みなど」（w c）

【ゴール予定】 14 時 00 分

【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局（笹本）

T E L ・ F X A 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

- ◆ 新型コロナ禍感染防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ◆ 新型コロナ禍感染拡大の時は、中止となる場合もあります。

第231回 伊豆歩倶楽部1月例会

「水仙十句」

伊豆歩倶楽部会員番号 NO1030 田代優子

今年初めてのウォーキングは、コースも規模も例年とは違ったようですが、私にとっては初めての下田水仙マーチ。海風が少し強かったものの、空は美しく晴れ上がり、右手にきらきら輝く海を見ながら、うきうきと出発しました。



伊豆歩倶楽部の入会は、東京で同じ俳句結社にいらした徳田さんのご紹介なのですが、私はその結社をだいぶ前に辞めてしまいました。以来、俳句を作ることもなくなって、いざ作ろうとしてもなかなかできず、もうダメなんだと思っていたのです。ところが、歩き始めて間もなく、沿道に咲く水仙を見るやいなや、次々と水仙の句が浮かんできました。

「水仙に水の仙人おわします」

これはケータイを手帖代わりにして、「水仙」と打った途端に浮かんだ句です。あの花に「水仙」と名付けた人はいったい誰なのでしょう。素晴らしい感性の持ち主ですね。

「水仙とカラスたがいに怖がりぬ」

水仙のそばにカラスが一羽いました。水仙ははかなげで、カラスにつつかれたら怖いだろうな、しかしカラスにとっても、自分に向かって一斉に咲いている白い群れは恐ろしいかもしれない。そんな両者が対峙している瞬間の緊張感を句にしました。俳句というわずか十七文字の作品の世界を広げるには、「対比」、難しく言うと「二物衝撃」というテクニックがあります。まったく違うものを「取り合わせ」て、そこに生まれる「衝撃」の中に詩を感じさせること。カラスと水仙は「黒と白」「動と静」の対比です。

「水仙やトラック野郎のギンギラギン」

派手に飾り立てられたトラックが三台並んでいました。天然の清々しい水仙と、人口的な大型トラック、なかなか面白い取り合わせではないでしょうか。両者の違いが際立ってきます。

「だれの罪かぶりうつむく水仙よ」

水仙をじっと見つめていると、そのうつむき加減が、まるで見る人の罪を代わりに背負っている

ような気がしてきました。それは十字架にかけられて首を垂れたキリストみたい。

「しんがりの人の鼻唄水仙道（どう）」

いつものろのろ歩きの私の後ろにいてくださる飯作さんが、何やら歌をうたっていました。この水仙は明るい気分のお水仙です。

「東にされ水仙娘百円です」

道端で水仙が切られて売られていました。少しかわいそうに見えた水仙たちです。

山道を登り、御用邸のわきを通って、いげんだ浜に着きました。水仙とアロエの花が、わーっと声をあげて私たち一行を迎えてくれているかのようでした。

「野水仙柱状節理群生地」

きらやかな波打ち際を見ながら灯台へ向かう途中に、柱状節理の壮観な景が広がっていました。その規則正しい柱の並び方が、水仙の並ぶ様子にかぶってきます。質感もスケールもまったく違う両者の対比ではありますが、よく考えてみたら柱状節理だって何十万年もかけて少しずつ変化しながら生きている、群生している、ということに気が付きました。ちなみに、漢字だけで出来た俳句って、ちょっとカッコいい！

「灯台になりたし水仙の一本」

ついに有名な灯台に辿り着きました。青空に向かって真っ白な灯台が堂々と立っています。昭和12年製。水仙の気持ちになって眺めてみました。

「水仙の三百万本陣太鼓」

浜では下田太鼓の演奏が始まりました。大阪の陣で、城に入場する際の陣太鼓の様子をまねたものだけあって、たった二台でしたが、なかなか迫力がありました。夏・冬合わせ、徳川・豊臣双方で約30万の兵が戦った大阪の陣。平和ないげんだ浜のお水仙はピーク時で300万本も咲くとか。太鼓の音に野水仙の群が奮い立って見えました。



「水仙と水平線という直角」

真っ直ぐな水平線に対して屹立する水仙が作る清々しい景色。「白と青」、「近と遠」、「小と大」。今回一番好きな句です。

皆さま、いかがでしたか。句を考えながら歩くもなかなか楽しいですよ。後で読み返すと、その時の景色や自分の気分が、写真よりもいっそう明確によみがえってきます。次回はぜひ一緒に「吟行」ウォーキングをいたしましょう！

◆◆◆例会報告◆◆◆

■第 231 回 伊豆歩倶楽部 1 月例会

早春の水仙を訪ねる

- ・開催月日 令和 4 年 1 月 9 日 (日)
- ・集合場所 道の駅「開国下田みなと」
- ・集合時間 9 時 30 分
- ・出発式 9 時 45 分
- ・スタート 9 時 55 分
- ・天 候 晴れ
- ・参加者 16 名 (内一般参加者 3 名)
- ・距 離 10Km
- ・出発式 開会挨拶 笹本 祀長会長
コース説明 山本 清
ストレッチ体操 笹本 祀長
檄 徳田 尚志
- ・コースリーダー トップ 山本 清
ミドル 杉山 豊
アンカー 飯作 勝治
- ・閉会挨拶 山本 清副会長



年初めの例会は、一月には珍しく、風のない暖かい穏やかなウォーキング日和となりました。コロナ禍対策をして出発式を行い、9 時 55 分スタートする。まどが浜海遊公園、松陰の小径、県道と進み爪木崎入口に 10 時 45 分、市道に入り須崎御用邸前 11 時 00 分、九十浜入口 11 時 15 分、水仙の香が漂う爪木崎に 11 時 20 分小休止して、爪木崎俵磯 11 時 35 分、爪木崎灯台 11 時 50 分、いけんだ浜に 12 時 00 分下田太鼓の歓迎でゴールする。

事務局便り

伊豆歩倶楽部会員の継続手続きをお願いします。

手続きは、封筒に名前と会員番号を記載して会費 3,000 円、家族会員は 1,500 円を同封して、例会の受付に提出するか郵便振替をお願いします。

郵便振替用紙にて『通帳番号 10150 - 記号 57680821 伊豆歩倶楽部』宛てに納入して下さい。

伊豆歩俳壇

野水仙味は爪木の池之段煮

清水政悦

母の乳噎せるが毎き屠蘇を飲み

清水政悦

浜水仙競いて海を眺めをり

徳田尚志

歩き初め水仙も首長くして

徳田尚志



・ホームページアドレス <http://www.izuhoh-club.com>

・メールアドレス info@izuhoh-club.com

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。

※会報への投稿は、毎月 20 日までをお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864

携 帯: 090-7675-8682

・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301

『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 祀長

TEL & FAX 0558-22-5465

■令和4年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！ 仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和4年4月1日～令和5年3月31日》

【会 費】 継続会員 3,000 円/年 家族会員 1,500 円/年

新規会員 4,000 円 （ 入会金 1,000 円 年会費 3,000 円/年 ）

日本ウォーキング協会 正会員 10,000 円/年 維持会員 2,000 円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。

※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

